

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-587

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)1月6日

F 16 L 21/02  
17/02Z-7244-3H  
7244-3H

審査請求 有 (全3頁)

⑮ 考案の名称 管継ぎ手におけるバツキングの抜出し防止構造

⑯ 実 願 昭60-65083

⑰ 出 願 昭55(1980)8月26日  
前特許出願日援用⑱ 考 案 者 橋 本 孝 夫 東京都港区新橋2の16番の1の701号 ニュー新橋ビル7  
階706号室 コスモ工機株式会社⑲ 出 願 人 コスモ工機株式会社 東京都港区新橋2の16番の1の701号 ニュー新橋ビル7  
階706号室

⑳ 代 理 人 弁理士 池田 仁士

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

1 剛性管の受口部11と、該受口部内に挿入される軟質管の挿口部12と、前記受口部11と挿口部12との間隙部に挿入される環状のバツキング13とからなる継ぎ手において、

前記剛性管の受口部11の内面に外端方向にテーバー面111aを設け、

前方の軟質ゴムよりなるバルブ部132と後方の硬質ゴムよりなるヒール部131とを一体に形成するとともに前記ヒール部131の後端に前記受口部のテーバー面111aに対応するテーバー面131aを形成したバツキング13を、前記受口部11内に前記両テーバー面111a、131aを互いに摺動自在に当接せしめてなる

ことを特徴とする剛性管と軟質管との継ぎ手におけるバツキングの抜出し防止構造。

2 バツキング13のバルブ部132は、軟質管の挿口部12の許容される変形範囲以内において継ぎ手部に生ずる間隙を充填するのに十分な質料を有する実用新案登録請求の範囲第1項に記載の剛性管と軟質管との継ぎ手におけるバツキングの抜出し防止構造。

3 バツキング13のバルブ部132は、舌片132a、132bを有する実用新案登録請求の範囲第1項に記載の剛性管と軟質管との継ぎ手におけるバツキングの抜出し防止構造。

4 受口部11のテーバー面111aは、錐11

2を有する内周溝111に形成された実用新案登録請求の範囲第1項ないし第3項のいずれかに記載の剛性管と軟質管との継ぎ手におけるバツキングの抜出し防止構造。

5 剛性管がスリーブ継ぎ手である実用新案登録請求の範囲第1項ないし第4項のいずれかに記載の剛性管と軟質管との継ぎ手におけるバツキングの抜出し防止構造。

## 図面の簡単な説明

第1図、第2図は従来の管継ぎ手部分の構造を示す縦断面図、第3図は従来の抜出し防止機能をもつバツキングの断面図、第4図ないし第7図は本考案の一実施例のバツキングの抜出し防止機能をもつ継ぎ手の構造を示す図面であつて、第6図は挿口部が変形した時の継ぎ手部分の縦断面図、第7図は第6図のX-X線にみた継ぎ手部分の横断面図、第8図及び第9図は本考案の他の実施例の構造を示す図面、第10図は本考案の継ぎ手構造をもつスリーブ継ぎ手の縦断面図、第11図は本考案の更に他の実施例を示す継ぎ手部分の縦断面図である。

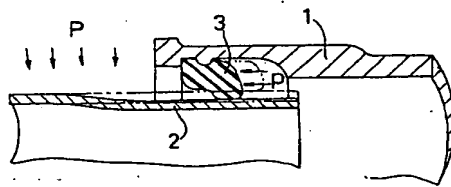
1…従来の受口部(剛性管)、2、12…挿口部(軟質管)、3、3'…バツキング(従来)、4…スリーブ継ぎ手(従来)、5…FRP管、6…従来の抜出し防止バツキング、6'…係合爪、11…本考案の受口部(剛性管)、111…内周溝、111a…テーバー面、112…錐、113…バツキングバルブ部収容部、13、13'…本

実開 昭61-587(2)

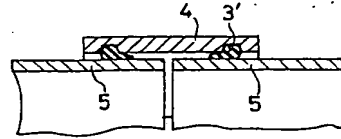
考案のバツキング、131…ヒール部、131a  
…テーバー面、131b…凹陷部、132…バル

ブ部、132a, 132b…舌片、21…スリー  
ブ継ぎ手。

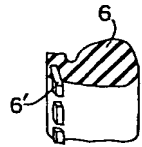
第1図



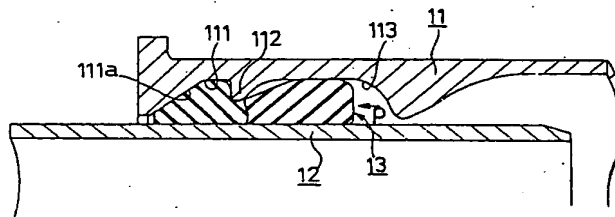
第2図



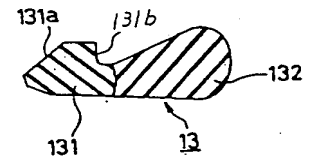
第3図



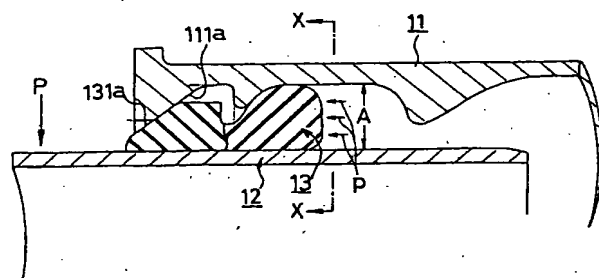
第4図



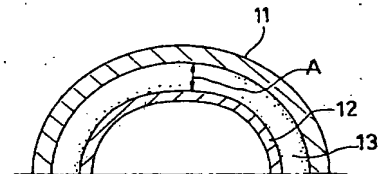
第5図



第6図

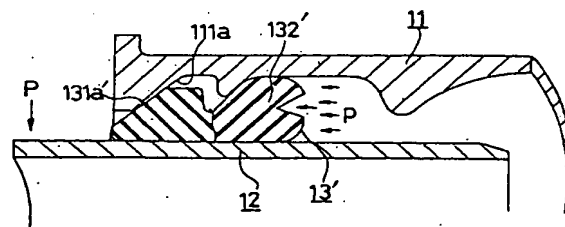
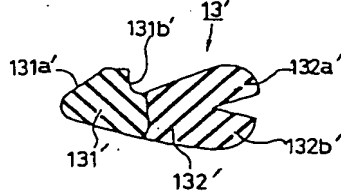


第7図



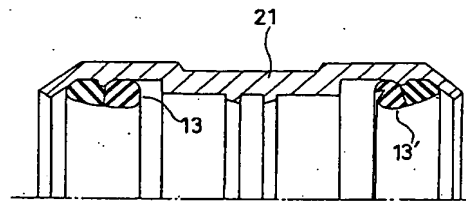
第9図

第8図

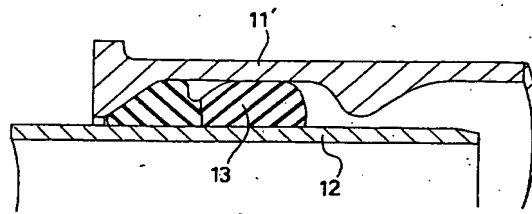


実開 昭 6 1 - 5 8 7 ( 3 )

第 10 図



第 11 図



BEST AVAILABLE COPY